

1. 農業のさかんな地域

NO. 12

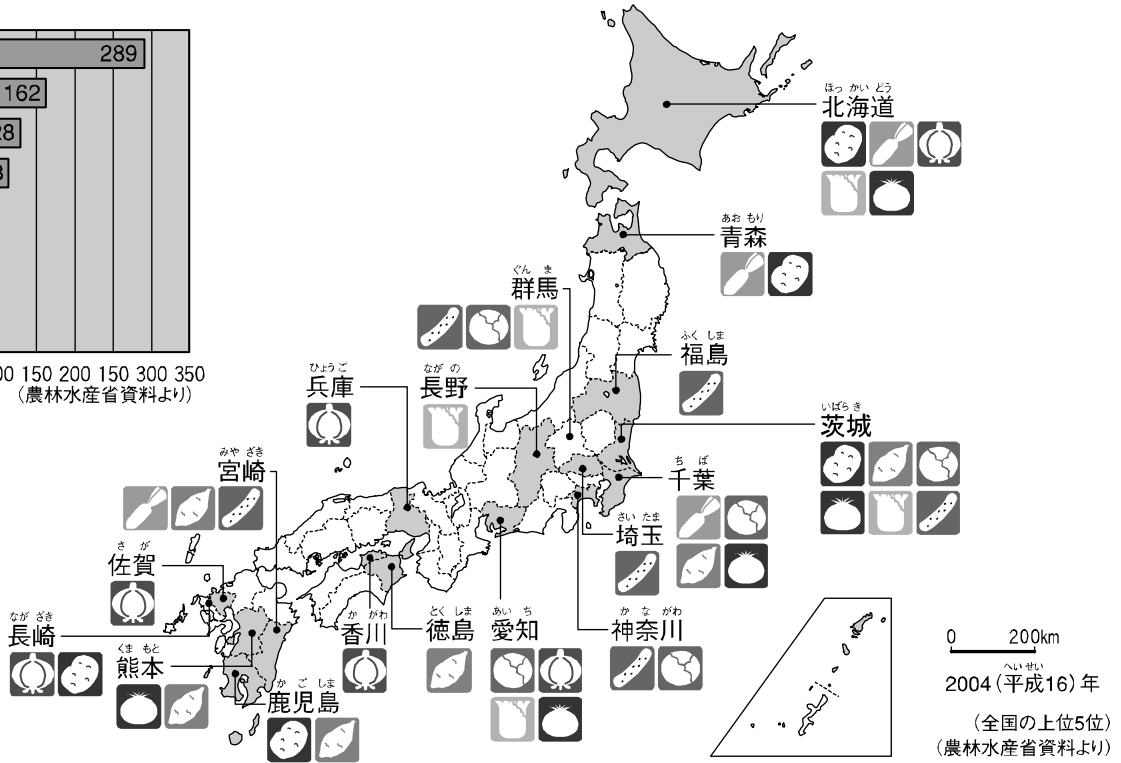
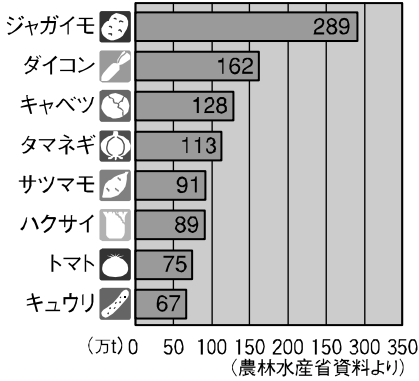
野菜づくりがさかんな地域

小学5年 社会

1 野菜の生産地

野菜は全国でつくられています。消費量の多い大都市の周辺では、新鮮な野菜を速くとどけられるため、野菜づくりがさかんです。

おもな野菜の生産量



2 野菜づくりと気候

野菜づくりは、各地の気候を活かして行われています。

- 高原での野菜づくり…夏にすずしい気候を活かして、レタスやキャベツを生産しています。
- あたたかい地域での野菜づくり…冬にビニールハウスや温室で、ピーマンやきゅうりなどを生産しています。

3 野菜づくりのくふう

気候に特色がある地域では、ほかの地域の出荷が終わって、量が少ない時期に出荷できるよう、時期をずらして生産するくふうをしています。

量が少ない時期に出荷すると、野菜のねだんが高いという利点があります。

- レタスやキャベツ…高原の産地では、ほかの地域の出荷がへる夏に出荷します。長野県、群馬県、岩手県など。
- ピーマンやきゅうり…あたたかい地域の産地では、ビニールハウスなどを利用して、量の少ない冬から春にかけて出荷します。高知県や宮崎県など。

参考 近こう農業

東京・名古屋・大阪などの大都市に向けて、野菜や花、牛乳や卵などを生産する農業を近こう農業といいます。

新鮮な農産物をトラックで大都市の市場に出荷します。

参考 畑ではいろいろな作物をつくる

いっばんに、農家は、種まきや収かくの時期をずらして、同じ畑でいくつもの季節の野菜をつくっています。

畑にはたい肥を使い、無農薬や減農薬で生産する農家もふえています。